

宇都宮市立城山東小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
「読むこと」「書くこと」における基礎的技能を高める学習の充実	・朝の学習における「ミニ作文」や新聞記事等の要約、語彙力を付けるための学習の実施 ・低学年の促音、長音、拗音などの指導段階における個に応じた教材の活用 ・授業の振り返りの確実な実施と次時での活用	6年生の結果を見ると、どの教科においても、資料の読み取りについては市の平均を上回っているものが多く、読み取る力は着実に身に付いてきているといえる。しかし、読み取ったことを基に考え、文章で表現する力は、まだ十分身に付いていない。
復習により定着を図る学習の充実	・前学年までの「宮っ子学習ステップアップシート(漢字・言葉・計算・図形・量)」の計画的な実施	6年生の漢字の読み書きの設問において、5年生の漢字を書く問題では、正答率が5割程度のものも見られ、十分に定着が図られていない。また、文の構成(述語)についても、正答率が5割であり、復習が必要であるといえる。
家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫	・「家庭学習の手引き」の活用(児童・保護者) ・地域学校園共通の合言葉「宿題プラス1」の周知・徹底 ・年2回の「家庭学習がんばり週間」の実施と自主学習の実践の紹介	学習と生活についてのアンケートにおける「学習に対して、自分から進んで取り組んでいる」の設問では、ほとんどの学年で肯定的回答が8割を超えている。また、家庭学習の平均時間は、城山地域学校園で目安としている各学年の学習時間とほぼ同じであり、家庭学習の習慣が付いてきているといえる。休日についても、平日と同じように学習する児童が増えてきている。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・基礎的事項の確実な習得が課題であることから、低学年の段階から、個に応じた教材を活用して読み・書きの基礎的な力を高めていくとともに、前学年までの「宮っ子学習ステップアップシート」を計画的に実施し、段階的なステップアップを目指していく。また、朝の学習の時間における複数教員での指導や授業における少人数指導で、個に応じた支援を行っていく。

・文章の要旨を捉えて読み取る力と、読み取ったことを基に考え、文章で表現する力の育成が、今後の課題である。朝の学習の時間に、テーマに沿った「ミニ作文」を書いたり、上学年では、新聞の要約や感想をまとめたりする活動を繰り返し行っていくことで、文章を読んだり書いたりする際のポイントを習得していけるようにする。

・市の調査結果から、どの学年においても家庭学習の習慣が身に付いてきていることが分かる。低学年からの基礎・基本の積み上げが課題であることから、次年度もより一層、家庭学習の習慣化に向けて全校体制で取り組んでいきたい。